

「積極的平和主義」は「平和主義」ではない

## 進むべき道はそちらではない

— 軍事的関与を強める

危険な「積極的平和主義」



「今までの（憲法解釈の）積み上げのままでいくというのであれば、そもそも安保法制懇をつくる必要はない」（12日、衆院予算委）



「（政府答弁の）最高の責任者は私だ。私が責任者であって、私たちは選挙で国民から審判を受けるんですよ。審判を受けるのは、法制局長官ではない」（12日、衆院予算委）

公明	井上義久 幹事長	内閣法制局は事実上「憲法の番人」で、歴代内閣はその見解を尊重してきた。それを踏まえて発言してほしい（14日）
民主	枝野幸男・ 党憲法総合 調査会長	権力者でも変えてはいけないのは憲法だという、憲法の「いろはのい」が分かっていない。きちんと勉強してほしい（14日）
共産	志位和夫 委員長	憲法が国家権力を縛るという立憲主義を否定する、極めて乱暴、無責任な議論だ（13日）
社民	又市征治 幹事長	歴代内閣の議論の積み重ねを尊重するのが当然で、時の内閣が勝手に憲法解釈を変更することがあってはならない（14日）

「最高責任者は私だ」  
**立憲主義否定**

「戦争する国」へ大転換

（北信越平和C統一行動）

● 新潟で計画されている日米合同訓練、抗議集会！！

米軍のオスプレイを登場させる  
陸上自衛隊と米海兵隊の共同訓練が  
新潟の奥山演習場で企画されている

2月22日(土) 13:00  
高田スポーツセンター-駐車場(新潟上越市)

(バス) 砺波体育館(8:40) 高岡市役所(9:10)  
自治労会館(9:50) 魚津市役所(10:30)

3369億円



左日米軍経費